

平成29年 第11回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成29年 第11回宮崎市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成29年10月25日（水）13：40～15：00

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 【教育長・教育委員】

二見教育長、松野代表教育委員、畠山委員、江草委員、柳田委員

【事務局】

小泉教育局長

（企画総務課）本村課長、山本補佐、鍋島主幹、久保係長、
佐藤主査、田中主査、黒田主任主事

（学校施設課）佐土課長、大住補佐

（学校教育課）松竹課長、田口補佐、黒木補佐

（教育情報研修センター）荒武所長、平山次長

（生涯学習課）染矢課長、矢野補佐

（保健給食課）横山課長、和田補佐

（文化財課）羽木本課長、小窪補佐

4 議 案

番 号	件 名	説 明 者
議案第27号	教職員人事の内申について	学校教育課長

5 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第48号	平成29年第5回宮崎市議会臨時会（10月）の報告について	教育局長
報告第49号	平成29年度第2回宮崎市総合計画審議会の報告について	教育局長
報告第50号	その他の事件の報告について	学校教育課長
報告第51号	臨時代理の報告について	学校教育課長

二見教育長	<p>それでは、定刻になりましたので、ただ今から、第11回教育委員会定例会を開会いたします。傍聴者はありません。会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私二見と、畠山教育委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
二見教育長	<p>それでは、会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。(1)教育長報告です。10月11日(水)～13日(金)に熊本県八代市で行われました「九州都市教育長協議会第1回理事会・定期総会・研究大会」について、ご報告いたします。理事会が11日、定期総会、研究大会が12日に行われました。今年は、九州都市教育長協議会の会長を拝命しております。事務局として、企画総務課企画係に開催市である八代市とともに、準備を進めてもらいました。やはり、会長として、会を運営することは、重い仕事であると思ったところです。しかし、研究大会の「英語教育改革の動向について」の講話やそれぞれの部会での発表、「地方財政措置による教育環境の整備について」の財政関係の説明については、非常に勉強になりました。文部科学省も予算を獲得したいが、財政が厳しいということで、どこも似たようなものだったところです。声としては、子どもたちに必要なものについては、ぜひ予算を取ってほしいという声がたくさん上がりました。そして、九州はひとつという思いで、宣言文もまとめましたので、ご一読ください。市といっても、鹿児島市のような人口67万の市から、人口2～3万の小さな市まで幅広くございますので、ひとつにまとめるというのは非常に難しいです。しかし、子どもへの思いは、どの市も一緒だったところです。報告は以上でございます。</p>
	<p>次に、1ページに戻りまして、「(2)委員報告」でございます。10月19日(木)～20日(金)に愛知県名古屋市中で行われました、「全国市町村教育委員会連合会第3回常任理事・理事会」について、松野代表教育委員に報告をいただきます。</p>
松野代表教育委員	<p>それでは、4ページをご覧ください。資料2でございます。名古屋市で開催されました「平成29年度全国市町村教育委員会連合会第3回常任理事・理事会」に参加させていただきました。概要につきましては、下の方に書いてございますが、文部科学省による講演が2コマございました。1コマ目は、文部科学省の教育改革調整補佐官の春山氏から、「新しい学習指導要領の考え方」ということで、ポイントの部分をお話ししていただきました。特に、新しい教育課程、学習指導要領で強調されている「社会に開かれた教育課程」という言葉は端的に申し上げると、社会と学校とが課題を共有することである、ということでした。本日、住吉南小学校の学校支援訪問に行ってみましたが、キャリア教育の中で、外部の方をお招きして授業をされていました。まさに、課題を共有し、お互いに学び合うということを改めて実感してきたところでした。もう1コマ目は、「障がい者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」でした。障がい者学習支援推進室長の橋田氏より講演をいただきました。障がいのある方と、社会とをどのように繋いでいくのか、という各県代表的な具体的な事例について、報告をいただきました。特別支援教育という学校教育だけに留まらず、障がいのある方と社会</p>

	<p>とを結びつけるという視点をもちながら進めていくという内容でした。そのほか、役員の異動で、12年間全国の事務局長を務めておられました相上事務局長が退任されました。事務局次長でいらしゃった新海氏が10月1日から後任として、事務局長に就任されました。翌日は、視察研修でトヨタ産業技術記念館を訪問しました。私の小学生時代に習った、豊田佐吉氏の経歴が、写真を織り交ぜながら展示してありました。世界のトップをいくトヨタ自動車の素晴らしい推移を学ばせていただきました。大変貴重な経験でした。以上です。</p>
二見教育長	<p>次に、1ページに戻りまして、「(3) 教育局長報告」の「平成29年第5回宮崎市議会臨時会(10月)」、「平成29年度第2回宮崎市総合計画審議会」でございますが、こちらは、「議事」の中で報告させていただきます。次に、会次第「4 議事」に入らせていただく前に会の進行の都合上、会次第「5 その他」16ページの報告事項「トップアスリート発掘・育成事業第2期生選考について」、説明をお願いします。</p>
野尻スポーツランド推進課長	<p>トップアスリート発掘・育成事業第2期生選考について、説明させていただきます。16ページをご覧ください。トップアスリート発掘・育成事業につきましては、昨年の教育委員会においても説明させていただいておりますが、改めて、事業の目的を申し上げます。2026年に開催されます、2巡目の宮崎国体などの大会で、将来的に活躍できる選手を本市から発掘・育成し、競技力向上につなげていくことを目的として、昨年度から実施しているところでございます。事業概要でございますが、小学4年生から6年生の児童を対象に、各学校で実施される体力テストの成績上位者を抽出し、改めて運動適性テストを実施し、上位成績者をトップアスリートに認定しています。中学3年生まで、月1回程度のトレーニングを実施していきますが、昨年度は、第1期生として、65名を認定したところでございます。その子ども達に対しては、今年1月から月1回の体幹トレーニング、あるいは保護者対象の栄養学の講座なども実施しております。事業概要の下段が、今年度の一次選考から認定式までの大きな流れでございます。次の一次選考でございますが、選考人数160名ということで、これは最終選考の約4倍、昨年と同様の人数の、子どもたちを選考させていただきました。選考基準につきましては、先ほど申しましたとおり、体力テストの上位者でございます。現在、一次選考に選ばれた対象児童へ、学校長を通じ、二次選考の案内文を渡してもらっています。次に、承諾書の提出ですが、11月6日期限までに、承諾書を対象児童の保護者からスポーツランド推進課へ提出してもらうことになっております。二次選考につきましては、最終的には、40名程度を選考する予定としております。4年生20名、5年生、6年生は昨年の4年生、5年生で選ばれた子どもたちが上がってきておりますので、半分の10名を選考したいと考えております。日程としましては、平成29年11月26日に市の総合体育館で選考会を実施します。結果通知といたしまして、12月中旬に各保護者及び学校長へ通知いたします。翌年1月20日に認定式及び第1回のトレーニングを行っていく予定としております。以上、概要の説明でございます。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明に対しまして、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>

二見教育長	<p>それでは会次第「4 議事」に入らせていただきます。5ページをお開きください。報告が4件となっております。また、本日、議案の追加が1件ございます。議案第27号「教職員人事の内申について」につきましては、会次第「4 議事」(1) 報告終了後、事務局から説明をさせていただきます。それでは、報告第48号「平成29年第5回宮崎市議会臨時会(10月)の報告について」、事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>それでは、6ページをお開きください。報告第48号「平成29年第5回宮崎市議会臨時会(10月)の報告について」、でございます。10月3日(月)に開催されました。内容は、9月市議会定例会で継続審査となっていた議案の審査結果及び決算審査特別委員会の委員長報告でした。決算については、教育委員会分が、61億5千200万円で、この決算額について認定を受けたということになります。教育費について、決算審査特別委員会の委員長報告の中で、意見要望がございましたので、7ページに記載させていただいております。まず一つ目が、教育費のうち小中学校のスクールカウンセリング事業等についてです。「スクールアシスタントについては、相談体制の充実を図るため、全小中学校への配置を目指すとともに関係機関と連携し、専門家の確保に努められたい。」という意見がありました。続きまして、特別支援学級ティーチングスタッフ派遣事業及び特別支援教育スクールサポート事業についてです。「当局の説明によると多くの学校から要請があったが、全てに応えられたわけではなかったようですので、さらなる拡充に努められたい。」という意見でした。②の決算審査全体についての意見です。その中では、「当局においては、主要施策の成果等説明書に事業の内訳を分かりやすく記載されたい。さらに、事業費の内訳については、事務経費等を除く、事業本体の決算額が明らかとなるよう、よりわかりやすい資料の作成について、研究されたい。」という意見がありました。また、その下にありますように、教育委員会は、分かりやすい補足資料を作成したという言葉をいただきました。以上です。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませんか。また、お気づきになられた点はございますでしょうか。</p>
松野代表教育委員	<p>議会をテレビ中継で見ていましたが、教育委員会の資料について、分かりやすいと言っておいただき、良かったと思っております。</p>
二見教育長	<p>続いて、報告第49号「平成29年度第2回宮崎市総合計画審議会の報告について」事務局から説明をお願いします。</p>
小泉教育局長	<p>それでは、9ページをお開きください。報告第49号「平成29年度第2回宮崎市総合計画審議会の報告について」、説明させていただきます。各団体の代表28名に委員として集まっておいただきまして、審議会が行われました。日時は10月10日(火)、13時30分から、場所は宮崎観光ホテルでございました。内容については、第五次宮崎市総合計画の策定に向けた取組について、これまでの会議の議論を踏まえた対応のほか、計画の基本構想(案)、前期基本計画(案)について報告がありました。スケジュールについては、下の表のとおりです。11ページから13ページまで、総合計画の体系を大きくまとめたものが提示されています。1枚目に「1 計画体系」、「2 将来の都市像まちづくりの基本的な考え方」、「3 将来推計人口」が示されております。「4 まちづくりの基本目標</p>

	<p>とそれを達成するための具体的な取組」では、左側に、平成30年度から平成39年度の基本構想（案）がございませぬ。右側に、平成30年度から平成34年度までの前期基本計画（案）となっております。教育委員会が関係しますのは、主要施策5「子どもの居場所の確保」であります。これは、児童クラブの待機児童数を重要業績評価指標（KPI）としております。この部分と12ページの基本目標「良好な地域社会が形成されている都市（まち）」で、重点項目2-1「地域に愛着や誇りをもつ「みやざきっ子の育成」、主要施策1「学力向上の取組の推進」から、主要施策6「地域と学校の連携の推進」までになります。このように、原案として作成し、本市のホームページに掲載するなどして、パブリックコメントを募集しております。また、本市のホームページには、去川小学校の利活用について、募集をかけておりますので、よろしければご覧ください。概要の説明になりますが、進行状況をご理解いただければと思います。以上です。</p>
二見教育長	<p>ただいまの説明に対し、ご質問はございませぬか。また、お気づきになられた点はございませぬでしょうか。</p>
	<p>ないようでしたら、次に、報告第50号「その他の事件の報告について」、報告第51号「臨時代理の報告について」、先ほど申し上げました議案第27号「教職員人事の内申について」でございませぬ。報告第51号「臨時代理の報告について」質疑が終わりましたら、議案第27号「教職員人事の内申について」審議をお願いいたします。また、こちらにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
二見教育長	<p>それでは、ただいまより、非公開といたします。</p>
	<p>それでは、ここで非公開を解除いたします。次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>なし。</p>
二見教育長	<p>それでは、会次第「6 次回委員会の決定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
本村企画総務課長	<p>次回定例会は、平成29年11月22日（水）午後1時40分から、教育委員会室で開催することをご提案いたします。</p>
二見教育長	<p>提案のありました日時で、次回定例会を開催してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
二見教育長	<p>続きまして、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。</p>
本村企画総務課長	<p>（ 説 明 ）</p>
二見教育長	<p>以上をもちまして、第11回定例会を終了させていただきます。</p>